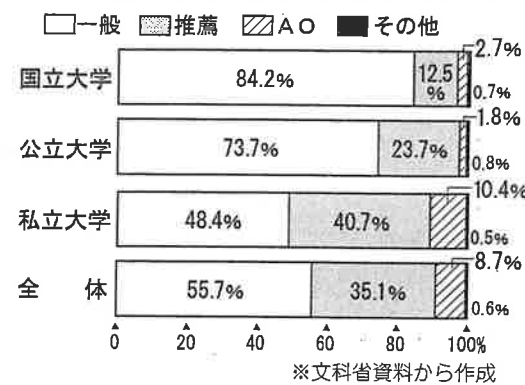


【2011年度入学者の入試形態別割合】



次回はAO入試を取り上げます。

（CC）高等館東進衛星予備校

Q. 推薦入試の選び方は？

近年の大学入試においては、入試制度が非常に多様化しています。そのため、受験生は自分に有利な入試制度を選んで受験するのが合格への近道となります。今回は「推薦入試」について取り上げてみます。

表左は2011年度大学入試の入試形態別入学者数の割合です。とりわけ私立大学においては、07年度以降、一般入試の割合が5割を切っており、2人に1人が推薦・AO入試で入学していることとなります。

■推薦入試
推薦入試は、出身高校の校長の推薦が必要で、主に調査書や志望理由書によって合否を判定する制度です。推薦入試は、大きく「指定校制推薦」「公募制推薦」に分類されます。

■指定校制推薦
指定校制推薦は、大学から推薦枠をもらった高校からしか出願できません。したがって、自分が通う高校が志望大学の指定校制推薦の対象校となっているかどうか、高校の進路担当の先生に確認してみましょう。

指定校制推薦で出願するには、まず校内選抜を通らなければなりません。最も重視されるのが、高1から高3の1学期(または前期)までの成績(評定平均値)です。部活動や生徒会活動などの学業以外の活動や、出席日数等も考慮されることがあります。したがって普段から高校の学習をコツコツと努力している生徒が有利になります。

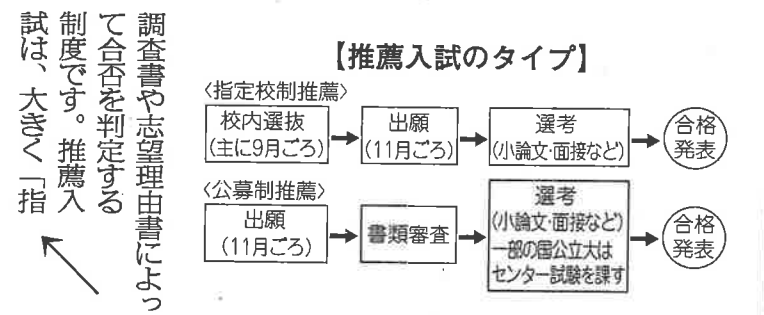
■公募制推薦
公募制推薦は、大学・学部ごとの出願資格を満たせば、誰でも出願が可能です。

今週のポイント

- 推薦入試は出身高校の校長の推薦が必要
- 指定校制推薦は大学の指定対象校のみで出願でき、校内選抜通過が必要
- 公募制推薦は大学・学部ごとの出願資格を満たせば、誰でも出願が可能

近年の大学入試においては、入試制度が非常に多様化しています。そのため、受験生は自分に有利な入試制度を選んで受験するのが合格への近道となります。今回は「推薦入試」について取り上げてみます。

表左は2011年度大学入試の入試形態別入学者数の割合です。とりわけ私立大学においては、07年度以降、一般入試の割合が5割を切っており、2人に1人が推薦・AO入試で入学していることとなります。



ステップアップ!!
 アップ!!

<大学入試編>

A. 多様な出願資格知って